

二〇二六年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について
国語【昼間コース 一般選抜…前期日程】

問題一

出題意図

問題文は、事実を伝達すること以外を目的としてうわさのやりとりが行われる状況について論じたものである。本文中で用いられている「理解」と「納得」の違いを正確に読み取ることや、自身の感情の正当化または共有に重きを置いた場合に行われるうわさの特徴について理解することがポイントとなる。設問は、基本的な語彙力を問うとともに、文意・文脈を適切に把握できているか、文章の要点を正しく読み取るとともに適切に要約することができるかについて問うもので構成されている。

評価ポイント

問一 基本的な漢字を手掛かりとして、説明文の内容に合った四字熟語を推測し、正確に書くことができること。

問二 一般的な評論等で用いられる範囲の難易度の漢字について、書き取りが正確にできていること。

問三 問題文の文脈を理解し、適切な語句を選び出せること。

問四 傍線部の意味を理解するとともに該当部を適切に抜き出せていること。

問五 問題文の文脈を理解し、該当する箇所を本文から抜き出せていること。

問六 該当部分の前後の文脈を正確に理解し、説明できること。

問七 問題文の内容全体を理解したうえで、文中で述べられている複数の要素を的確に要約し、字数制限に合わせて表現できていること。

問八 問題文の内容全体を理解し、その正誤を正確に判断できていること。

問題二

出題意図

古文に頻出する古語や定型的表現を理解しているか、高等学校で学習する古典文法や古典についての知識を一定以上習得しているかを問う。また、これらを用いて、古文の文章、意味・内容(文脈・状況設定や登場人物の考え・心情など)を正確に把握できているかどうかをみる。さらに、日本古典文学史について基礎的な知識を持っているかを確認する。

評価ポイント

問一 古文によく見られる古語を正しく読み、書くことができていること。

問二 『醒睡笑』の該当部と、出典である能「松風」の該当部との関係を理解し、能「松風」の文脈をたどって対応箇所を見つけ、正しく抜き出して書くことができていること。

問三 能「松風」の文脈を追い、「諸国一見の僧」がすでに述べ、再び述べていることを理解して、対応箇所を見つけ、正しく抜き出して書くことができていること。

問四・問五 各該当箇所に入る最も適切な語句を選択肢から選んで、正しく書くことができていること。

問六 「月に心は須磨の浦」「三年はここに須磨の浦」という凝縮した語りの表現について、問題文の内容を理解し、設定された説明文に入る語句を正しく書くことができていること。

問七 基礎的な古文の文法・単語を知り、当該の文脈を理解した上で正しい現代日本語に訳すことができていること。

問八 能「松風」の終盤で、松風・村雨の亡霊が「諸国一見の僧」に「我が跡とひてたび給へ」と依頼する部分の「たび」(補助動詞)を「足袋」の意味と間違えていることを理解し、正しく書くことができていること。

問題三

出題意図

問題文は、日本における無戸籍者の存在をめぐる論考である。戸籍制度について、本文の内容を正確に理解し、そのうえで筆者の主張や要点を正しく読みとることが求められる。設問は、基本的な語彙の他、文意・文脈を適切に把握できているか、本文の内容を適切に要約できているか、本文全体の内容を正しく理解できているかを問うもので構成されている。

評価ポイント

- 問一 一般的な評論文等で用いられる範囲の難易度の漢字について、書き取りが正確にできていること。
- 問二 問題文全体の文脈と各段落の文意を正しく把握し、各文をつなぐ語を適切に選択できていること。
- 問三 傍線部の意味を理解し、適切な語句を本文から抜き出せていること。
- 問四 適切な干支を選び、その読み取りが正確にできていること。
- 問五 傍線部の意味を理解し、適切な語句を選択できていること。
- 問六 問題文の文脈を理解し、適切な語句を本文から抜き出せていること。
- 問七 設問文の意図を正確に把握し、内容を適切に説明できていること。
- 問八 問題文の内容全体を理解し、その正誤を正確に判断できていること。

問題四

出題意図

宋代の文学者であり政治家でもあった蘇軾（そしよく）の書簡文より出題した。蘇軾は、高等学校では漢文のほか世界史でも学習する人物である。その蘇軾が友人に贈った言葉には、学問の向上を願うとともに、郷里に帰る友人への心遣いが述べられている。学問の成就と人間としての大成を農作にたとえて切々と説き明かした問題文は、難解な語句も多くはなく、比喩を正しく理解できれば、高等学校までに学習した漢字・漢語・漢文の能力によって十分に味読できるものである。問題では漢字・漢語の理解度、漢文法の知識や習熟度を確認するとともに、問題の指示に従い日本語で正しく説明できているかを問うた。

評価ポイント

- 問一 漢語と現代日本語における漢字の意味の違いに注意し、問題の指示に従い正しい漢字が書けていること。
- 問二 漢文の語法を理解し、本文の内容を踏まえて正しく読み下せていること。
- 問三 問題文の内容を十分に理解した上で、指定された字数内で誤字・脱字なく適切に説明できていること。
- 問四 問題文全体の内容を理解した上で、指定された文を日本語に正しく訳せていること。
- 問五 問題文の意図を理解し、指定された字数内で正しい日本語で説明できていること。
- 問六 問題文に即して筆者の説く学問のあり方を理解し、反義語に注意して解答できていること。